

## 活動実績報告書

令和4年2月14日

登録番号 2020782  
氏名 西岡 洋典

## 1. 活動状況

令和元年4月 ～ 実施中

## ・ 活動の概要

県では持続可能な林業経営を将来に渡り展開するために、再造林の推進と共に、森林経営管理制度の適正な運用による森林整備の推進により森林資源の質的、量的な好循環を促進すべく、県内に6箇所ある林業事務所ごとに、地域の市町村、森林組合、林業事業者等と連携し、再造林の推進及び森林経営管理制度による森林整備、森林資源の充実による林業、木材産業の成長産業化をめざし、それら制度の推進支援を行うこととしている。再造林推進のためには、地域林業事業者が森林所有者に対し行う再造林の勧誘に際し、主伐材積から地位を判定のうえ再造林から次回主伐までの収支予測を提示できるエクセルファイルを提供することで再造林の誘導を促進する。また、森林経営管理制度の集積過程において、森林所有者に対し目標林型へ誘導する森林整備手法、管理権存続期間終了後の管理指標を提示するほか、市町村が経営管理権集積計画を提示する際の施業の回数、間伐強度等の目安づくりを支援するエクセルファイルを作成した。

## ・ 当該活動を挙げた理由

再造林後の、木材成長量を予測するに当たり、主伐後で地位判定のための樹高が測定できない場合や施業地の地形の差異等により、主伐林分の樹高がばらつき地位判定が難しいなど、次世代の収穫量の予測は困難と思われた。また、森林経営管理制度において、各市町村においては、経営管理権集積期間後まで含めた森林整備の計画作成や管理権配分計画期間における収益性の高い林業経営が可能な森林整備計画作成は困難であり、市町村による経営管理権集積計画で規定する施業が森林環境整備を主眼とする保育計画が中心となり、地域の人工林資源の有効利用に結びつかない懸念もあった。

## ・ 当該活動における、あなたの立場と役割

地域の林業事業体に提供するエクセルファイル(以下「森林施業プランファイル」という)において、県が作成した民有林収穫表の幹材積と地位級との相関を同収穫表の樹高による地位級と相関させることにより、今回の主伐期の林齢及び幹材積(用材、チップ用材、バイオマス量から逆算が必要)から地位級を判定し、次世代の伐期齢が異なる場合でも収穫量が推計できる相関を算出し森林施業プランファイルに搭載出来るように改良した。また、森林経営管理制度の経営管理権集積に際し、市町村職員が森林所有者と目標林型、施業時期、収穫量の計画をすりあわせることで、経営管理権配分計画においても収益性の高い森林整備の回数、間伐強度が計画できるエクセルファイル(以下「目標林型推計ファイル」という)を作成し、集積計画の作成を支援出来るようにした。

## ・ 活動上発生した問題点と課題及びそれへの具体的対応策

地位級の判定のための樹高測定は皆伐後では不可能であったり、広い施業地内での標準的樹高位置の見極めも不可能であるため、森林レーザー測量の成果から平均樹高を算出する等の手法も試行したが、レーザー測量においても誤差が認められることから、民有林収穫表の幹材積から算出する地位級により将来の収穫量を判定することで森林施業プランファイルの地位級を決定することとした。また、目標林型推計ファイルにおいては、森林経営管理制度において経営管理権が集積される森林を対象とすることから、長伐期施業による目標林型への対処が必要な場面を想定し、県の民有林収穫表の最高林齢が100年であるものを200年までの樹高曲線を活用し、伐期林齢、伐期立木密度、伐期材積の目標に沿って間伐回数、間伐率を調整し、目標林型に近づく施業を推計出来るものとした。

## ・ 活動による成果で残された課題及び今後の改善方策

林業事業者による活用実績、要望に応じた仕様変更による利便性向上が必要となる。

森林施業プランファイル

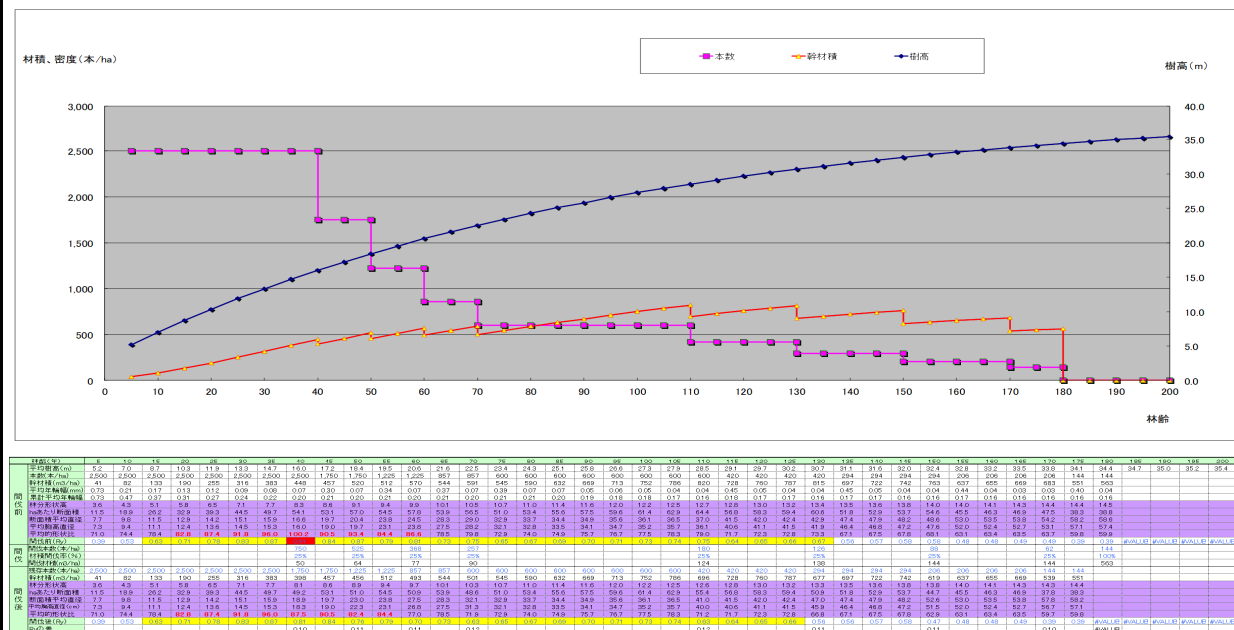
香美市森林施業プラン

再造林	市町村名	香美市	4	税区分	その1	長伐期	する
	樹種	ヒノキ		手数料率	12.0%	生産歩留	60%
	面積	1.00ha		森の工場	あり		
	仕立種	中仕立て	植栽本数:	3,000			
	苗木種類	コンテナ苗	木材販売				
	地帯有無	有	還元金	2,000	円/m3		
	諸掛費率	21%					
主伐情報	主伐林齢	55年	主伐樹高	329.0 m3	生産歩留	65%	の幹材積
			主伐幹材積	0.6 等地			506.2 m3
	主伐材積	500 m3	←実際の数				
	主伐収入	6,000 千円	主伐単価	12,000 円/m3	森の工場活性化事業		
	主伐経費	3,600 千円	補助単価:	7,200 円/m3	30 m3		900 円/m3
	収益	2,400 千円	上限材積:				80 m3
			下限材積:				

林齢	施業	標準的な施業			低コスト造林を導入した施業			施業の有無		下刈り作業種	
		支出	収入	収支	支出	収入	収支	標準	低コスト	標準	低コスト
1	再造林	1,438	1,284	△ 154	1,438	1,284	△ 154	1	1	標準	低コスト
1	下刈1年目	224	136	△ 88				1		毎年	
2	下刈2年目	224	136	△ 88				1		毎年	
3	下刈3年目	224	136	△ 88				1		毎年	
4	下刈4年目	224	136	△ 88				1		毎年	隔年
5	下刈5年目	224	136	△ 88				1		毎年	
6	下刈6年目	224	136	△ 88				1		毎年	
7	下刈7年目	224	136	△ 88				1		毎年	隔年
12	除伐	193	117	△ 76	193	117	△ 76	1	1		
20	25%保育	105	127	22	105	127	22	1	1		
30	25%保育	181	127	△ 54	181	127	△ 54	1	1	材積	区分
40	25%間伐	688	666	△ 22	572	595	23	1	1	65	60
55	30%間伐	827	879	52	695	898	203	1	1	102	80
75	25%間伐	827	804	△ 23	695	724	29	1	1	104	80
100	主伐	3,362	5,604	2,242	3,362	5,604	2,242	1	1	467	
1	シカネット	951	849	△ 102				1			
1	シカチューブ			0	1,551	1,385	△ 166	1	1	計 738	
11	チューブ撤去		0	0	222	0	△ 222	1	1		
40	路網開設							1	1		
	合計額	10,140	11,409	1,269	9,014	10,861	1,847				
						収支差額	△ 578				

目標林型推計ファイル

スギ林分体系図 所有者: A 所在地: C 地位級 4.7 等地



2. 研修の受講状況

研修名 平成29年度森林総合監理士等の技術向上研修 平成29年12月  
 (実施主体) 四国森林管理局

3. その他の自己の能力・維持向上のための活動状況

高知県森林施業プランナー育成研修に参加